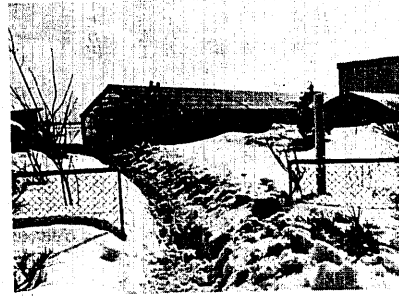




おじい、病弱で大変だね、でもよくあつたなっけ元氣出してん
なせやと、一軒一軒、役員が届けました。

花を見て 長生きしてくんねや 老人が花の友愛訪問(岡方)

岡方地区の老人クラブ(会長品田富郎)が、二月二十五日、花のプレゼントをしました。これは、岡方の健康農園で育てたアザレアやクルメツツジなどを、地区の寝たきり老人やひとり暮らし老人約五十人を訪問し贈ったものです。



外は雪がいっぱい。でも健康農園の
△ハウスには、花をつけた鉢がいっぱい。

昭和55年3月20日



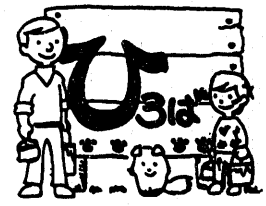
△一鉢ずつ、自転車に乗せて訪問宅へ。



△大阿賀荘の職員も、雪の中を二輪車で鉢運び。



△訪問宅の数を調べ、花を老人クラブの役員宅へ届けます。



農村婦人大会開かれる

三月七日、農村婦人大会が中央公民館で開かれ、約百人の農村婦人が参加しました。開会後、「農業に生きる」と題して田村恵美子さん(笹山)、「米の消費を思う」と題して安達美枝さん(長戸呂)、「私と農業」と題して中村昭美さん(椋)、それに「農業

富山県を視察 婦人国内研修

今年度の婦人国内研修が、三月十、十一日行われました。研修地は、隣り富山県の新湊市が中心で、参加者は遠藤洋子さん(早通北)ら六人。研修は、婦人団体の指導者としての資質を高めることも

青年の国内研修行われる

恒例の青年国内研修が、二月二十日から三日間行われました。今回、参加した青年は十八人。東京築地の中央青果市場

市民文芸 俳句

- 豊栄俳句会 阿部 竜堂
- 小柳 翠歩
- 豊栄俳句会 阿部 竜堂
- 立春の息吹く光け添き樹々の 泉野 莊成
- 立春の息吹く光け添き樹々の 川柳
- 夜溜きの一窓灯り帰る雁 後藤ヨシエ
- 添えし手を離る、試歩や春立ちぬ 本田十一路
- 立春やきらりと鳥賊の胴割かれ 山崎 智盛
- 猫柳其処が魚釣れる湖 川柳
- 豊柳十二月号「座布団」豊柳会 水田桂太郎
- 座布団を辞退来意をはかりかね 品田 浪乱
- 座布団に尋ねてみたい今日の客 阿部 雅雄
- 座布団を返せば焦げ穴自己主張 三村 豊
- 座布団の美女がぬくもり裏返す 師橋 山雨
- 座布団に吸わせ律が廻らな 三勝 一男
- 座布団の中の形娘と話し 井上 睦子
- 座布団に花札とんで飯場暮れ 吉川 初枝
- 読経の母座布団に背をまるめ 佐藤啓四郎
- 熟爛の待つ座布団へドッコイシヨ 鹿島 郁子
- 座布団に想い出残し旅をゆく

校章めぐり(14) 岡方中学校



戦後、新しい教育理念の基に、六・三・三制の新学期が決定いたしました。本校も、昭和二十二年五月十五日岡方村立岡方中学校として設立され、その時々の社会的推移を経て、今日にいたっています。

八人) 当時小学校の校舎に間借りしていましたが、小学校の先生方にも協力を願ひ、職員から募集しました。応募の中から菅原克巳先生の作品を選び、それに先生方の創意をいかけたもので、図案化にあたっては、古阿賀に繁殖する地域の特徴ある植物の「ひしの実」にヒントを得て、岡をひし型にして、中学校の中を配したものです。(安藤校長記)

岡方中学校(安藤幸一郎校長、生徒数一九八八、職員一十二)の七月に制定された